

平成28年度 基本評価調書

施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	所管部局	経済部	作成責任者	観光振興監 木本 晃	施策コード	05	04
		照会先	観光局観光戦略G (内線26-565)	関係課	観光局			

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)	小項目(政策の方向性)			総合計画の指標
		2	経済・産業	(6) 多彩な観光資源を活かした世界が憧れる観光立国北海道の更なる推進	食や自然環境など豊富な資源を活かした滞在交流型の観光地づくり		
北海道創生総合戦略		A3311,A3312,A3313,A3331	北海道強化計画	B1731	新・北海道ビジョン	C00401,C00402,C00403,C00405,C00406,C00502,C00503,C00601,C00607,C00608,C00610,C00611,C00612	
特定分野別計画等	北海道観光のくにつくり行動計画、北海道外国人観光客来訪促進計画						

現状と課題	<p>・北海道は、世界自然遺産の知床をはじめとする豊かな自然環境、四季折々の彩り鮮やかな景観、心を癒す温泉や新鮮な食、地域の風土や歴史が育んだ生活・文化などが大きな魅力となっており、国内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>・本道を訪れる観光客が特定の時期や地域に偏る傾向があることや、今後の人口減少の進展による国内観光市場の縮小などが懸念されている。</p> <p>・これまで本道観光を支えてきたかけがえのない自然環境の保全に努めながら、安全・安心に配慮した受入環境を整え、北海道の魅力ある観光資源を活用した滞在型観光地づくりを進めることにより、「世界が憧れる観光立国北海道」をめざしていくことが必要である。</p>	<p>・さらなる観光による経済効果を高めていく上からも、道内における滞在日数、各観光地における滞在時間を伸ばしていくことが重要となっている。</p> <p>・世界自然遺産をはじめ、北海道が世界に誇る自然や環境を守り育てながら、温泉や食をはじめ、伝統や生活、文化など豊富な資源を最大限に活用するとともに、質の高いサービスを提供して、繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを促進する。</p>
-------	--	--

施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>〔道〕</p> <p>・地域の資源や特性からテーマ性などを見だし、戦略的なプランのもとに観光地づくりを進めていく。</p> <p>〔(公社)北海道観光振興機構〕</p> <p>・本道観光の中核的推進組織として、道と一体となって、民間組織としての感覚や発想を生かしつつ、機動性と専門性を発揮し、北海道観光の振興に向けた取組を積極的に展開していく。</p>	<p>〔民間〕</p> <p>・一次産業をはじめ、地域の他産業との連携による地元食材の提供や地域特産品の開発といった、観光にかかわる地産地消の推進に取り組む。</p> <p>〔市町村〕</p> <p>・観光振興の主体として、地域の資源を生かした多様な観光商品づくり、ホスピタリティの向上や人材育成に取り組むとともに、様々な産業の連携・協力が円滑に進むよう、調整に努めていく。</p>	施策の予算額	
			H27	41,427
			H28	292,469
		H29		

今年度の主な取組	<p>地域の事業者や観光協会等が連携して取り組む、観光資源の掘り起こし、磨き上げによる多様な観光商品づくりや広域的な観光地づくりに対して支援</p> <p>北海道への教育旅行の誘致を促進するため、受入体制整備や商品づくりなど、地域の広域的な取組を支援</p> <p>広域観光周遊ルートを形成する道北・道東エリアにおける観光客の増大などにつなげるため、外国人観光客向けの滞在モデルやサービスの企画・検討等の取組を実施</p> <p>観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」の道内における形成を促進するため、道内各地におけるDMOの確立に向けた取組を支援</p>	<p>今後増加が期待される海外や道外からの観光客に対し、効果的に情報発信をするため、北海道観光の魅力アピールする情報拠点を首都圏に設置</p> <p>外国人観光客の円滑な受入を促進するため、本道の主要な玄関口である新千歳空港に国際観光案内所を設置し、多言語による旅行相談や観光情報の提供を実施</p> <p>北海道の観光振興を図るため、人手不足、人材の定着が課題となっている宿泊業と貸切バス業の人材育成を支援</p> <p>個人旅行の道外客、外国人観光客などをターゲットに道央から道北・道東の主要観光地を巡る、新規のツアーバスの実証実験を行い、観光地を周遊するための二次交通の整備・充実を図り、道北・道東への誘客を促進</p>
----------	---	---

主要指標に係る取組
その他の取組

1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
		実績と成果等	総合戦略	強靱化
地域の魅力ある観光資源を活用した旅行商品開発や受入体制整備の取組を支援し、地域資源を活用した新たな商品づくりが14地域、受入体制整備が14地域で行われた。(H27)		A3311,A3313,A3331		C00401,C00403,C00502,C00503
教育旅行誘致に向けた地域の受入体制の充実強化の取組を支援するとともに、道内のモデルコースに道外の旅行代理店や教育関係者を招へいし、広域的な連携による受入体制づくりが進むとともに、モデルコースの磨き上げが図られた。(H27) ・道外プロモーション 5地域 ・教育旅行関係者の招へい 5回		A3311		C00401,C00402
道北・道央の市町村、観光団体等で構成する「きた北海道広域観光周遊ルート推進協議会」が観光庁に申請していた広域観光周遊ルート形成計画「日本のでっぺん。きた北海道ルート。」が、平成28年6月、国土交通大臣から認定された。		A3311,A3313,A3331		C00401,C00405,C00406,C00601,C00607,C00608,C00610,C00612
今後増加が期待される海外や道外からの観光客に対し、効果的に情報発信をするため、道及び札幌市は、道・市連携により、「北海道・さっぽろ観光情報プラザ」を平成28年6月、首都圏にオープンした。		A3311		C00401,C00402
バス運転手育成確保のための研修やバス乗務員を対象としたスキルアップセミナー等を実施し、事業を通じて16名のバス運転手の新規雇用が実現するなど一定の効果があつた。また、宿泊業への理解促進と働く意欲喚起を目指したインターンシップや新入社員・派遣社員合同研修等の実施し、研修の機会が少ない宿泊業の実態を踏まえた研修は、参加者からも好評であり、インターンシップ後に1名の学生がホテルに就職するなど一定の効果があつた。		A3312,A3313		C00611
日本版DMO候補法人である北海道観光振興機構が主体となって、道内各地域における日本版DMOの形成に向けた取組を支援するとともに、新千歳空港における国際観光案内所の設置など効果的な情報提供や、道北・道東の主要観光地を巡るツアーバス実証実験の実施など道央圏以外への誘客を図る(H28年度)。		A3311,A3313,A3331		C00401,C00403,C00502,C00503
(2) その他の取組の成果等				
国等提案・要望状況	<p>国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、外国語併記の観光案内標識の設置をはじめ、無料公衆無線LAN環境の整備充実や道内をレンタカーで周遊する外国人観光客の安全・安心を確保する交通安全標識など外国人観光客の受入体制を早期に整備するよう国に要望を行った。(平成28年7月)</p> <p>外国人観光客が集中しているゴールデンルートから地方への分散化を目的に認定された道内2つの広域観光周遊ルートの形成を促進し、国の目指す「観光先進国」化に貢献するため、財政的支援の拡充を図るよう国に要望を行った。(平成28年7月)</p> <p>観光地づくりを担う主体としての日本版DMOの形成・確立を促進するため、各種データの収集・分析、戦略策定、専門人材の確保など、日本版DMO候補法人に対する総合的な財政支援制度を創設するよう国に要望を行った。(平成28年7月)</p>	施策に関する道民ニーズ	<p>北海道観光の中核的な組織である北海道観光振興機構から、人材育成・サービス向上、観光開発・振興、広報・プロモーションなどを要望事業として取りまとめた「北海道観光に関する平成28年度事業予算の要望」を受け、平成28年度予算編成の中で事業の具体化に努めた。(平成27年11月)</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	新幹線や海外との航路・航空路の拡充により期待される国内外からの誘客を一層促進するため、新千歳空港の国際拠点空港化の促進をはじめ、鉄道、航空路、航路といった基幹的な交通ネットワークや交通基盤の充実を図る。	N0204	総合政策部航空局	観光局、航空局、新幹線推進室などが参画する「観光と交通政策に係る連絡会議」を平成28年6月に開催し、交通政策と観光が連携した施策を効果的に推進するための情報交換を行った。
		N0204	総合政策部新幹線推進室	
-	都市住民との交流促進により農村の地域活性化を図るため、関係部と連携しながらグリーン・ツーリズム(滞在型余暇活動)を推進する。	N0605	農政部農村設計課	観光局、農政部が連携し、グリーンツーリズムに関する情報収集及びHPでの情報発信を行った。
-	滞在型に向けた観光地づくりのため、「北海道グリーン・ツーリズム推進庁内連絡会議」を設置し、道におけるグリーン・ツーリズム推進施策の円滑な実施に資するため、庁内各部や他地域との連携、様々な主体との協力により、四季を通じた豊富な観光資源を活用し、ゆっくりと滞在して四季それぞれの良さを堪能できる、多様な楽しみ方を提供する魅力的な観光地づくりを進める。	N0605	農政部農村設計課	観光局、農政部、水産林務部などが参画する「北海道グリーン・ツーリズム推進庁内連絡会議」を平成28年3月に開催し、滞在型観光地づくりのための各部が連携した施策を効果的に推進するための情報交換を行った。
		-	水産林務部	
-	「食と観光」を中心とした産業間連携を一層強化し、力強い経済を確立するため、「食と観光」の促進のための連携会議を設置し、「食と観光」が連携した施策を効果的に推進する。	N0501	経済部食関連産業室	観光局と食関連産業室などが参画する「食と観光の促進のための連携会議」を平成28年5月に開催し、食と観光が連携した施策を効果的に推進するための情報交換を行った。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	-	評価年度	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37					
観光消費額(道内客1人当たり)		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37	-	-	-	本指標を把握する北海道観光産業経済効果調査が概ね5年毎に1度実施され、本年度が調査実施年に当たるため、現時点では評価不能	
		基準値	13,271	目標値	13,271	最終目標値	15,000					
〔指標の説明〕 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり)	北海道総合計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28		進捗率
				増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値		13,271		15000.0
								実績値				
								達成率				

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	-	評価年度	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37					
観光消費額(道外客1人当たり)		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37	-	-	-	本指標を把握する北海道観光産業経済効果調査が概ね5年毎に1度実施され、本年度が調査実施年に当たるため、現時点では評価不能	
		基準値	69,670	目標値	69,670	最終目標値	79,000					
〔指標の説明〕 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり)	北海道総合計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28		進捗率
				増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値		69,670		79000.0
								実績値				
								達成率				

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	-	評価年度	達成度合の分析 ほか	
		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37					
観光消費額(外国人1人当たり)		基準年度	H22	年度	H28	最終年度	H37	-	-	-	本指標を把握する北海道観光産業経済効果調査が概ね5年毎に1度実施され、本年度が調査実施年に当たるため、現時点では評価不能	
		基準値	122,128	目標値	122,128	最終目標値	209,000					
〔指標の説明〕 道内、国内、海外からの観光客が道内での観光1回に消費した平均額(1人当たり)	北海道総合計画	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28		進捗率
				増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値		122,128		209000.0
								実績値				
								達成率				

関	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32					
宿泊延べ数(万人泊)		基準年度	H25	年度	H28	最終年度	H32	A	A	-	-	前年度に比べて5.9%の増加となったことから、繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを促進する取組の効果が現れている。
		基準値	3,215	目標値	3,551	最終目標値	4,000					
〔指標の説明〕 宿泊客の延べ人数(国内及び外国人) H28年度の目標値は、H37年度の最終目標とは異なり、参考値である。	北海道創生総合戦略	根拠計画		増減方向		達成率の算式		年度	H27	H28	進捗率	
				増加		$\frac{(\text{実績値}) - (\text{基準値})}{(\text{目標値}) - (\text{基準値})} \times 100$		目標値	3,439	3,551	4,000	
								実績値	3,471	-	3,471	
								達成率	114.0%		86.8%	

本施策に成果指標を設定できない理由								判定	A	B	C	D	-	結果
								(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可	
								主要指標					3	
								関連指標	1					

Plan 施策推進計画(事務事業) (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式2)	Do and Check 事務事業評価
---	---------------------

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

H28 整理番号	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	業務目標の設定(P)										事務事業評価(C)								
					事業費 (千円)	平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価							
						本庁	出先 機関	人工計	人件費	フルコスト						重点点検事項				必要 な見 直し	予算	サービ ス	方向性
H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期	推 進 事 項																			
05040499		その他内部管 理事務	予算決算、文書管理、議会対 応、職員の人事・服務・給 与・福利厚生、物品管理、広 報広聴、陳情要望、政策評 価、企画立案など、局内の内 部管理に関する事務全般	観光局	0	6.5	0.0	6.5	53,593	53,593								-	継続(現状 維持)	現状維持			
05041200	主	観光地づくり 推進費(北海 道さっぽろ 「食と観光」 情報館運営 費)	北海道が高い競争力を持つ 「食」と「観光」の分野にお いて、その魅力をアピールす る総合情報拠点として札幌市 との連携により整備した「食 と観光」情報館の運営経費	観光局	38,717	0.3	0.0	0.3	2,474	41,191								継続(現状 維持)	継続(現状 維持)	現状維持			
05041399		観光ホスピタ リティ運動に 関する事務	北海道を訪れる観光客が北海 道に好印象を持ち、「また来 たい」という満足感が得られ るよう、道民総ぐるみ運動と して展開。	観光局	0	0.2	0.0	0.2	1,649	1,649								-	継続(現状 維持)	現状維持			
05041499		地域イベント に関する事務	地域イベントに係る後援名義 依頼、役員就任、行事への出 席、キャンペーン支援	観光局	0	0.3	0.0	0.3	2,474	2,474								-	継続(現状 維持)	現状維持			
05041599		赤れんが情報 コーナーの管 理に関する事 務	赤れんが庁舎を訪れる観光客 に対して、情報コーナーにお いてパンフレット等により北 海道観光をPRする。	観光局	0	0.2	0.0	0.2	1,649	1,649								-	継続(現状 維持)	現状維持			
05041600	主	災害に強い観 光地づくり事 業	安全・安心な観光旅行を楽し むことができる災害に強い観 光地づくりを目指し、北海道 の観光産業を支える観光関連 事業者への防災意識向上の普 及・啓発を図る。	観光局	2,600	0.2	0.0	0.2	1,649	4,249								継続(現状 維持)	継続(現状 維持)	現状維持			
05041700	主	おもてなし力 強化事業	道内観光地の「おもてなし 力」の評価・改善に取り組 み、観光客の満足度の向上や リピーターの拡大を図るとと もに、観光事業者の「おもて なし」意識の醸成を図るた め、観光業界が一体となって 「イランカラブテ」キャン ペーンを展開する。	観光局	5,546	0.1	0.0	0.1	825	6,371								継続(現状 維持)	継続(現状 維持)	現状維持			
05041800	主	観光商品づく り開発コンペ 事業	大学生を対象とした北海道観 光に係る企画コンペを実施 し、優秀な作品は商品化・事 業化につなげるなど、将来の 北海道観光をリードする人材 を育成する。	観光局	4,100	0.1	0.0	0.1	825	4,925								継続(現状 維持)	継続(現状 維持)	現状維持			

H28 整理番号	業務目標の設定(P)														事務事業評価(C)								
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度 執行体制(人工)						総合 戦略	強化	新・ 北海 道ビ ジョン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価							
					事業費 (千円)	重点点検事項				H27二次政策 評価意見						対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期	推 進 事 項	必要 な 見 直 し	予算	サー ビス	方向 性
						本庁	出先 機関	人工計	人件費														
05041900	主	地域創生人材育成事業(北海道観光を支える人材の育成・確保事業)	人手不足や人材の定着が課題となっている宿泊業と貸切バス業の人材育成・確保を支援し、急増する外国人観光客の対応も踏まえた観光の受入基盤を整備する。	観光局	0	0.1	0.0	0.1	825	825							-	継続(現状維持)	現状維持				
05042000	主	地域観光活性化促進事業	地域の観光協会や団体が主体的・自発的に連携して取り組む事業に対しアドバイスやプロモーションを行うなど一環した支援を行い、観光の通年化や広域連携を促進する。	観光局	54,347	0.6	0.9	1.5	12,368	66,715								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			
05042100	主	広域観光推進事業	地域の観光従事者などが連携して行う地域の特性を生かした観光資源の掘り起こし・磨き上げによる多様な観光商品づくりの取組に対し、企画段階からメディアへのPR、旅行会社へのセールスまで一貫した支援を行う。	観光局	69,533	0.7	1.0	1.7	14,017	83,550								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			
05042299	主	日本版DMO形成促進事業	観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」の道内における形成を促進する。	観光局	0	0.1	0.0	0.1	825	825								-	継続(現状維持)	現状維持			
05042399	主	日本版DMO形成促進事業	観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす「日本版DMO」の道内における形成を促進する。	観光局	0	0.4	0.1	0.5	4,123	4,123								-	継続(現状維持)	現状維持			
05042400	主	北海道周遊大動脈形成実証事業	個人の道外客、外国人観光客などをターゲットに道央から道北・道東の主要観光地を巡る、乗り降り自由な新規のバスツアーの実証実験を行い、観光地を周遊するための二次交通の整備、充実を図り、地域格差の解消を図る。	観光局	96,333	0.6	0.0	0.6	4,947	101,280								継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持			
05044799	主	広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業	観光庁認定の道北・道東エリアにおける広域観光周遊ルート形成に基づき、外国人観光客向けの新しい滞在モデルやサービスの企画・検討を行う。	観光局	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123								-	継続(現状維持)	現状維持			

H28 整理番号	業務目標の設定(P)											事務事業評価(C)										
	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	平成28年度 執行体制(人工)					総合 戦略	強化	新・ 北海 道比 ジ ョ ン	重点 事業	地域 重点	一次政策評価							
					事業費 (千円)	本庁	出先 機関	人工計	人件費						フルコスト	重点点検事項				予算	サービス	方向性
																H27二次政策 評価意見	対応状況	連携事業 (整理番号)	終 期			
05044899	主	インバウンド 受入体制整備 事業	外国人観光客の円滑な受入を 促進するため、道内各地域で 中心となって活動している観 光人材を対象に、プロモー ションと受入を総括的にプロ デュースできるノウハウを習 得させることにより、地域の 自立的なインバウンドの受入 体制を整備する。	観光局	0	0.4	0.0	0.4	3,298	3,298							-	継続(現状 維持)	見直し検討 (連携開 連)			
05044999	主	新千歳空港国 際観光案内所 設置事業	外国人観光客の円滑な受入を 促進するため、本道の主要な 玄関口である新千歳空港に国 際観光案内所を設置し、多言 語による観光情報を提供す る。	観光局	0	0.4	0.0	0.4	3,298	3,298							-	継続(現状 維持)	現状維持			
05045099	主	実践的インバ ウンドおもて なし人材育成 事業	外国人観光客の受入を円滑に 進めるため、外国人観光客受 入れのための基礎研修並びに 小売 店、観光案内所、交通 機関、宿泊施設の従業員及び 通訳案内士等の技能向上のた めの実践的な 短期・長期の 研修を実施する。	観光局	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123							-	継続(現状 維持)	現状維持			
05045199	主	インバウンド 対応観光ル ート創出事業	外国人観光客の満足度を高め る国際観光ルートを形成し、 地域への誘客を図るため、複 数の 地域が連携して取り組 む観光地づくりを支援する。	観光局	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123							-	継続(現状 維持)	見直し検討 (連携開 連)			
05045200	主	北海道M I C E 誘致促進事 業	本道へのコンベンション誘致 を一層促進するため、地域の 受入体制の充実を図るほか、 道外 のコンベンション主催 者等に対して商談会を開催す る。	観光局	21,293	0.4	0.0	0.4	3,298	24,591								継続(現状 維持)	継続(現状 維持)	現状維持		
05045399	主	チャーター便 造成インバ ウンド誘致促進 事業	道内の空港ネットワーク全体 でインバウンド誘致を図るた め、外国からの定期便が就航 して いない道内空港への チャーター便を活用した旅行 商品造成や販促活動の支援を 行う。	観光局	0	0.5	0.0	0.5	4,123	4,123							-	継続(現状 維持)	見直し検討 (連携開 連)			
05045499	主	北海道 L O V E R S 拡大推 進事業	閑散期の観光情報や道央圏以 外の魅力を情報発信し、北海 道 観 光 の ファン(北海道 LOVERS)を 増加させるこ とにより、外国人観光客の平 準化及び広域拡散化を促進す る。	観光局	0	0.4	0.0	0.4	3,298	3,298							-	継続(現状 維持)	見直し検討 (連携開 連)			

5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析(具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	-	<観光消費額(道内客一人あたり、道外客一人あたり、外国人一人あたり[算定不可])> 調査年度の都合により指標の達成度合が把握できないため、現時点では評価不可	<施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか> ・食や自然環境など豊富な資源を活かした滞在交流型の観光地づくりに関して、効果的な取組を推進していることが認められる。 <施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか> ・本道観光が観光立国・日本をリードし、今後とも持続的に発展するため、魅力ある滞在交流型観光地づくりの推進を図るため必要な要望を国に対して実施しており、状況の進捗が認められる。 <道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか> ・各界からの提言や地域の声を反映した北海道観光振興機構から有用な意見を聴取しており、施策の効果改善に役立っている。 <施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか> ・観光関連事業を集約し情報提供に努めると共に、各種会議において情報交換を進めるなど、関係部と連携した成果が確認できる。	+ 評価
関連指標		<宿泊延べ数[A]> 繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを促進する取組の効果が現れている。		

総合評価	概ね順調に展開	評価の概要	指標の達成度合は順当であることから、評価は「概ね順調に展開」とする。
------	---------	-------	------------------------------------

次年度に向けての課題と今後の方向性(対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	世界自然遺産などをはじめ、北海道が世界に誇る自然や環境を守り育てながら、温泉や食をはじめ、伝統や生活、文化など豊かな資源を最大限に活用するとともに、質の高いサービスを提供して、繰り返し訪れ、安心してゆっくりと滞在できる北海道らしい魅力ある観光地づくりを進めていく。		A3311,A3312,A3313,A3331		C00401,C00402,C00403,C00405,C00406,C00502,C00503,C00601,C00607,C00608,C00610,C00611,C006

施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	05	04
-----	----------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	
------	--

平成28年度 基本評価調書

施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	05 - 04
-----	----------------	-------	---------

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05040499	その他内部管理事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041200	観光地づくり推進費(北海道さっぽろ「食と観光」情報館運営費)					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041399	観光ホスピタリティ運動に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041499	地域イベントに関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041599	赤れんが情報コーナーの管理に関する事務					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041600	災害に強い観光地づくり事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		廃止	
05041700	おもてなし力強化事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041800	観光商品づくり開発コンペ事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05041900	地域創生人材育成事業(北海道観光を支える人材の育成・確保事業)					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05042000	地域観光活性化促進事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		拡充	
05042100	広域観光推進事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		拡充	
05042299	日本版DMO形成促進事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		拡充	
05042399	日本版DMO形成促進事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		廃止	
05042400	北海道周遊大動脈形成実証事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05044799	広域観光周遊ルートビジネスモデル形成事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05044899	インパウンド受入体制整備事業					-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		現状維持	

整理番号	事務事業名	一次評価(平成29年度の方向性)(再掲)							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業(整理番号)	終期なし	推進事項								
05044999	新千歳空港国際観光案内所設置事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05045099	実践的インバウンドおもてなし人材育成事業					-	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05045199	インバウンド対応観光ルート創出事業					-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討		現状維持	
05045200	北海道MICE誘致促進事業					継続(現状維持)	継続(現状維持)	現状維持	現状維持		現状維持	
05045399	チャーター便造成インバウンド誘致促進事業					-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討	来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。	統合	総合政策部航空局の事業に統合
05045499	北海道LOVERS拡大推進事業					-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討	来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。	現状維持	同一国で展開する情報発信の際は、関係部局と情報共有を図っていく。
05045599	クロスメディア観光プロモーション事業					-	継続(現状維持)	見直し検討(連携関連)	見直し検討	来年度の事業構築に当たっては、海外での情報発信に当たり、同一国で展開する食や観光のWEB、SNSとの相互連携を検討すること。	現状維持	同一国で展開する情報発信の際は、関係部局と情報共有を図っていく。

施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	05	04
-----	----------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
< 新たな取組等 > 地域の資源を活かした魅力ある観光地づくりや、地域の観光産業の舵取り役を担うDMOの形成に向けた取組を支援するとともに、昨年6月に新たに認定を受けた「きた北海道ルート」をはじめとした広域観光周遊ルートの受入環境整備や、人手不足や職場への定着が課題となっている宿泊業界と貸切バス業界における人材育成など、観光客が安心して旅行することができる受入体制の整備・充実に取り組んでいく。 こうした観光施策を実施するため観光振興機構はもとより、市町村や観光関係者と一体となって効果的な施策の展開を図る。	

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応

平成28年度 基本評価調書

施策名	滞在交流型観光地づくりの推進	施策コード	05	04
-----	----------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	5 事業	事業	18 事業	事業	事業	事業	事業	23 事業
反映結果	事業	3 事業	17 事業	事業	1 事業	2 事業	事業	23 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
5 事業